

2019年10月2日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市須和田2-12-3
fax 047-705-6018
携帯 090-6310-3294
メールアドレス
shimizu@jcp-ichikawa.com
Twitter:清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No.122

9月定例会
市議会

市政アンケートに基づき質問

「防災」「じゅんさい池」など

台風15号の被害



9月9日未明に発生した台風15号の影響で、県内各地で、停電、断水が2週間以上つづきました。

市内でも梨農家では、これから旬の「新高」が落下(写真上)し、2億～3億の被害とされています。

日本共産党は、中央委員会、県委員会に対策本部を立ち上げ、志位委員長や県議が被災地を視察しました。各地からがれきの片づけなどにかかけたり、駅頭での募金活動に取り組んでいます。26日には、集まった募金を志位委員長、畑野衆議院議員らが県内4市に届け、市長に会い、要望を聞きました。

被災地で住民の話を聞く日本共産党の志位委員長



◎防災について

9月議会が、9月6日から10月1日まで開催されました。私の一般質問は9月25日に行いました。「防災」「じゅんさい池緑地」「公園」「子どもの居場所」「シルバー人材センター」の5項目はすべて市政アンケートによせられたご意見にもとづいたものです。一部を紹介します。

今年の市政アンケートの設問のうち「防災対策でのぞむこと」で、回答が多かったのが、①避難所の充実、②災害弱者の支援、③災害情報の提供でした。防災行政無線が聞こえない、聞き取りづ

らいという地域は、堀之内、国分、曾谷、須和田、平田にお住まいの方からは声がありました。そこで、防災行政無線の戸別受信機の貸与はできないかどうか、聞きま

した。市は「防災無線は市内207カ所に設置。保育園や学校、公民館などには戸別受信機が147台設置されており、一般家庭に導入する考えはない」という答弁でした。

また、市政アンケートでは「避難所までの道のりがわからない」「実際にどこへ逃げていいかわからない」という声もあり、防災訓練の充実を質問しました。

危機管理官は「自主防災組織が219団体、そのうち80団体が防災訓練をしている。従来の防災訓練に加えて、防災マップやハザードマップを使用して、避難所の周知や自分の身を守る方法など、訓練内容の充実を図っていく」と答弁しました。

〈9月議会一般質問〉

◎じゅんさい池緑地

○池の水質悪化の原因と対策について

毎夏に池の水が濁り、臭いもあり、水の循環が悪くなっているのではと心配する声があるが、原因と対策を質問。

市は「近隣住民より苦情がある。池は地下水、湧水、降水を水源としているが、湧水が不足し水が底流しやすくなっている。池の浄化対策は取り組んでいる」と答弁。

○井戸の1台が停止中。原因と対策について

市は「6月に井戸が揚水停止となり、ポンプ施設を更新したが回復していない。千葉商大とのじゅんさい池プロジェクトで水質改善を含め検討中」と答弁。

井戸の掘削も修理も予算化しなければならぬので一日も早い解決方法を見つけて、水質改善に取り組んでほしいと要望しました。



○高く伸びた樹木と草花が斜めになって崩れるので、斜面地ではという心配の声に対する対応について

市は「市民の安全を考え、安全確保を優先に、慎重に剪定し老木の伐採を計画し実施していく」と答弁。

○駐車場と駐輪場の確保について

市は「駐輪スペースの位置を検討する」と答弁。

○公園について

○里見公園の管理

公園内は自転車乗り入れは禁止されていると思うが、マナーを守らず乗り入れている利用者の対応を質問。

市は「公園入口に車止めを設置し、巡視を強化する」と答弁。

○小塚山公園の整備

風の強い日に砂埃がたち、洗濯物が外に干せないという苦情に対して、質問。市は「盛土部にはブルーシートで覆って対処してきた。4月以降は市で管理しているので苦情はない。公園工事の際には、防塵ネットで養生する」と答弁。

○子どもたちの放課後の遊び場の確保

学校施設、とくに校庭の開放を希望する保護者の声を紹介し、放課後や

土日の子どもたちの遊び場の確保について質問。

市は「今年から放課後子ども教室を4つの小学校で開設した。学校から直接利用できるので安心友達とすぐに遊べて良かったなどの保護者の声がある。順次各学校に設置していく」と答弁。

「中国分小や国府台小にぜひ、設置してほしい」と要望しました。

○市川市シルバー人材センターについて

全国的にも、「シルバー人材センター」は人気があり、全国で75万人の登録会員がいます。センターの概要、市川市の登録人数、仕事内容などを質問

市は「生きがいの充実と福祉の増進、活力ある地域社会づくりに貢献することを目的に、臨時的短期的な仕事を提供する業務を行っている。市の登録会員は1398名。草取りや清掃、駐輪場の管理、大工、植木など仕事は多岐にわたっている」と答弁。

登録会員のなかで、1

コミバス走ります!



10月1日9時から、北国分駅での簡単なセレモニーを行い、矢切駅までのコミバスが走りました。努力の結晶です。来年3月末までの実証運行を行い、本格運行となります。地域の皆さん、コミバスに乗って盛り上げて下さい。

年間仕事の紹介がなかったという方に対する市の考えを質問。

市は「1年間、仕事をされなかった会員は17%、233名である。理由はいろいろあるが、センターには、会員の方々が少しでも多く仕事についてもらえるよう、就業確保の努力をお願いしたいと考えている」と答弁。

無料法律相談

◎11月12日(火)
担当 田村陽平弁護士
◎12月10日(火)
担当 岩橋進吾弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分。
予約は清水又は控え室。